## 元気な"たむら" 住みよい地域



# あしたの"たむら"を夢見て

#### はじめに

この地域づくり提言作成にあたっては、村からの「自らつくる地域づくり事業」における地区計画策定の要請を受け、田村地区では「元気な"たむら"・住みよい地域・あしたの"たむら"を夢見て」を合言葉とし、各自治会長さん、公民館役員の皆さんの協力を基本にご意見やご提案をいただきながら検討を進めてきました。また、地区の皆様には自治会を通じたアンケート方式により、区民の皆さんからご意見をいただきました。150件近い貴重な提言などをお寄せいただき、誠にありがとうございました。

区民の皆様からいただきました貴重なご意見は幅広く集約してまいりたいと考える中で、村の希望する 5 年から 10 年先を見据えた「計画書」までには作業期間が短く至りませんでしたので「提言書」としてまとめさせていただきました。

皆様からいただきました貴重な意見・提案につきましては、仲間で取り組みのできること、自治会単位で取り組んでいただくこと、区として推進して行くこと、村をはじめとした行政機関へ要請して実現を図る事項等が考えられますので、将来に向かっての地域づくりの観点から毎年の総代会等で充分協議しながら方策を講じ、より良い地域づくりに取り組んで行きます。

今回の提言書作成を機会に、今一度区民の皆様一人ひとりがどうしたら**元気な"たむら"・住みよい地域**になるかを考えていただけたら幸いです。

「若い人に希望を、高齢者には安心を、働く人には生きがいを」、こんな地域となり、この提言が実現できますよう、皆様のご協力をお願いします。

**<1> 安心して暮らせる地域づくり** (治山治水・災害危険箇所・防火対策等) 安全で安心して住める地域とするための取り組みの一つです。

地区の河川改修の要望事項について、主なものとして次の事項があります。

#### ☆ 河川·水路

1) 竜東一貫水路の漆沢川水門改修要望は、平成 11 年に地元より村へ請願し村議会で採択となっている箇所で、地元としては三六災害時より大変に心配の種としています。

今日的には時々気候の変化に伴うゲリラ的な大雨も見られ、道路等の舗装や宅地化による農地の減少で保水能力も弱まり、降雨と共に一気に雨水が水路へ流れ出す状況では水門の流下能力に不安があり、改良が望まれます。

村では、県の適当な補助事業が見つからないこと、また地元負担金も現行の規定では高額となるため、改修に踏み切れない状態ですが、安心・安全な水路にするため、引き続き粘り強く村へ要望を続ける中で、今後も真剣に取り組まなければならない課題です。

2) 田村大井北村地籍で、天上井となっている場所の道路西側下部から漏水ではないかと懸念される箇所が数箇所もあり、改修が急がれます。

今後村と共に調査を行い、対策を講じる必要があると思われます。

- 3) 山田北井水は、佐原地区より総延長約 1.7km にも及び山肌を蛇が這う様に長距離を通水しています。この井水は先人が対岸の山に火を灯す測量方法で英知を尽くして作り上げた井水であり、管理や改修をする充分な道路もない状況ですが、なんとか先人が知恵を出し合ったように実現可能な改修方法を模索する必要があります。
- 5) 明神橋下流天竜川左岸堤防約 50m の堤防工事と、漆沢川下流地籍の草・木の 刈り取りについては、村・県・国へ要望していきます。

#### ☆ 防災・防火対策について

1) 豊丘霊園の雨水が西側の山に流れ込み災害が心配されるので、排水溝の設置等を村と協議し雨水対策を講じていきます。

- 2) ハザードマップの整備を村へ要望し、事前に災害危険箇所を地域住民が認識しておく必要があります。
- 3) 田村諏訪社境内への消火栓設置について村へ要望します。
- 4) 各自治会で地震・風水害に備えて、防災組織整備と、無線機・ヘルメット等必要機材の整備について研究し、必要数を備えます。

## <2> 安全と快適な暮らしのための道路整備

田村地区で現在改良が要望されている主な道路として

1) 県道長沢田村線の改良が要望されています。村内の主要道路もタテ線よりヨコ線の改良が進み、遅れている県道長沢田村線の道幅が狭い箇所、南市場・城・山田地籍の改良が急務とされています。

県道であるため村へ要請し、県への働きかけをお願いしていきます。

- 2) 県道伊那生田飯田線の歩道の凸凹とグレイチングにより、ベビーカー・ラクーターの車輪、杖での歩行に支障がある状況ですので、修繕をお願いしていきます。 また、歩道へ沿線の庭木の枝がはみ出し、通行に支障を来たしていますので、 モラルの問題として各人で考えましょう。
- 3) 北村会所前の5差路交差点について、長沢・山田方面より下り勾配にあるため 自然的に加速する車両が多く、また、交差点が変則のためそれぞれの車両の見通 しが悪く、非常に危険な状況です。交通安全対策を各関係者や関係機関で検討し、 対応する必要があります。
- 4) 笹久保~佐原経由長沢線に至る道路新設
  - 舞台線(グリーンベース~神社下)拡幅(一部済)
  - 荒外十線(神社北~河野地籍) 拡幅(一部済)
  - 北恒外・北村・林2号線(洞岩寺~中学校)拡幅(一部済)

それぞれ新設·拡幅改良が必要と思われ、これまでも村へ要請してきましたが、 今後も協議と要請を継続します。

その他にも防災を含め消防自動車・救急車が自由に通行できるよう、地域の道 路整備を検討していきます。

5) 山田地区へのバス路線の開設を研究していきます。

#### <3> 住んでよかった地区の生活環境

生活環境を良くするための様々な提案をいただいております。

1) 竹林整備については、地域の環境整備という点で今一層の整備の声も多く、中には「官役を増加してでも整備すべき」との積極的な提案や、更に進んだ意見では「竹林を全て伐採し、桜・花桃・サルスベリなどを植えて公園化しては」との提案をいただいています。現在の竹林のほとんどが個人の所有地あり、また急斜面の箇所が多いため防災上の安全面のことも考える必要があります。なお一層の研究課題と考えます。

- 2) 防犯灯について、まだまだ必要な箇所がある様子ですので、毎年計画的に設置できるように村と協議していきます。
- 3) 夜間バイクが騒音を立て迷惑行為が行われている所、また北市場三(豊丘村役場南交差点)信号機を待ちきれず、セブンイレブン駐車場を通過する車等があるようです。田村区民ばかりではないと思いますが、交通安全上からも絶対止めることを要望するとともに、交通安全協会等と防止対策を協議していきます。
- 4) 通路・水路への不法投棄が見られるようですが、人間のモラルとして非常に残 念です。決められた収集場所へ出すことが、他人に迷惑をかけないことにつなが ります。

水路への不法投棄はもちろん、土手草等も流さないようきれいに保ち、ホタル 等の生息する豊かな水環境を皆で考えましょう。

- 5) 村・地区の発展と活気のため、たむらんど付近に「道の駅」的な施設を整備しては、という提案があります。(村議会・中学生の模擬議会でも発言されています。)地区の皆さんのお知恵をお借りし、設置について研究・検討していきます。
- 6) 借家・アパートで生活している皆さんに対し、自治会への積極的な加入を呼びかけて、区・自治会の行事(祭り・運動会・公民館行事・ごみ処理・災害等の対策など)に一緒に行動してもらえるよう、あらゆる機会をとらえて加入対策を検討します。
- 7) 村で現在取り組んでいる人口増対策の一環としても、田村地区としては当面、 城地区・新田地区に住宅団地建設の取り組みを村と共に考えていきます。

## <4> 農地の荒廃・放任山林を生かすには

#### (農地)

田村地区において、農地として一番広い面積を占める田村原は、以前養蚕の盛んな時期は一面桑園地帯でした。しかし、繭価格の低迷と土地利用の変化に伴い、構造改善(小渋川農業利水改善事業)が検討され、果樹(梨・りんご・柿に区分)、普通畑、桑園の三団地の交換分合事業が実施されました。更に果樹については品目別果樹組合を結成し、共同防除による農業振興も図られてきました。しかし、現在は就農者の高齢化や後継者不足などで虫食い的に遊休地が発生しており深刻な状況です。

一方で活性化的組織により、一部観光農業等も取り組まれていますが、現状では 三団地化も崩れ、食の安全・安心が唱えられる現在、混在化による他作物への農薬 飛散も問題になりつつあります。

いずれにしても、田村原は地区として一番の優良農地であり、農地の保全と時代に即した土地利用計画を推進する必要があります。

有効活用するために以下の様な提案をいただいております。関係機関と協議をしながら、検討を重ねることとします。

1) 地区全体で子供から高齢者まで集まって、出荷用野菜栽培の取り組みを行い、

学校など各地へ販売をする。

- 2) 田村原の農地に休耕畑が多く、雑草が隣地に迷惑をかけているので、耕作できる人について地元農業委員を中心に発掘する。
- 3) 第三セクターを設立し、荒廃農地を集約して管理を行い、農作物を栽培して収益を上げる。
- 4) 農業ボランティア組織を立ち上げ、区民から必要な野菜の注文をまとめて栽培する。
- 5) 田村原にクラインガルテン(滞在型市民農園)を整備し、都市生活との親交や 地区の活性化により遊休農地の解消を図る。
- 6) 漆沢川沿いの休耕田をホタルの里にする。

## (山林)

- 1) 放任山林(松山)について、松茸が収穫できるようシルバー人材センター会員 の方を中心に手入れをしてもらう。
- 2) 山林整備は治山治水のためにも必要なので、手入れのできない山林については、 整備を一般区民にも参加を呼びかけ、薪ストーブ等の燃料にしてもらう。

## <5> 心安らぐ地域福祉 (交通弱者、ボランティア等)

少子高齢化といわれる時代にあって、高齢者の比率は年々高くなり、交通弱者といわれる人達も多くなってきています。また核家族化も進み福祉ボランティアを求める高齢者も多くなってきています。

次のような提案を基に、村や社会福祉協議会と連携しながら実現可能な部分を検討します。皆で地域福祉を考えましょう。

- 1) 道路によっては歩道も無い部分があり、ラクーターも通れない箇所があるため、 止むを得ず車道に出てしまう。
- 2) 生ごみの収集場所への出し方にもマナーが必要であり、皆で使用できるような 各個人の心づかいが必要です。
- 3) 近所の商店がだんだん閉店となり、一人暮らし高齢者を中心に交通弱者も増加 傾向にあるため、買い物ボランティアが必要となってきます。
- 4) 近所の助け合いサークル的な組織作りも必要となってきます。
- 5) 福祉ボランティアの組織立ち上げと、リーダーやボランティアコーディネータ ーの育成も必要となる。
- 6) 共同生活のできる総合高齢者センターや、地区ごとに高齢者をはじめとした弱者がくつろげる施設が必要です。空家等を活用して整備できないか。
- 7) 身体障害者でもできる仕事や作業場所を提供してほしい。

#### **<6> 区民総参加によるコミュニティー、地区活性化について**

1) 現在地区主体で行っている夏祭り・祭典神輿・運動会等は現状を維持してほしいというご意見がある中で、祭りについては、これまで以上に花火打ち上げや露店出店を要請するなど、子供が集まる祭りとなるよう、地区活性化のために区費

を使ってほしいという元気な意見もあります。

運動会等については、選手の工面等大変ですので違った行事に、また区民参加 に負担を感じないような行事は考えられないかとの提案もあります。

公民館事業と合わせての検討が必要と考えます。

- 2) 田村の神社は諏訪社であるので、御柱等の新しい取り組みはどうか。
- 3) 竹林整備と併せて竹宵祭り、桜のライトアップ等をしてはどうか。
- 4) 明神公園一帯にマレットゴルフ場の整備をしては。
- 5) 史跡 "巻ケ城" への道路を改良し、ツツジ・タラ・ワラビ等をもっと増殖して 山河を含めた一帯を公園にし、ホタルや川魚の見られる区民憩いの場所にしたい。 巻ケ城は、かつては祭りも大変なにぎわいを見せ、飯田から芸人や芸者衆が訪 れた程の場所であったようです。夢よ再び!

東巻にも同じような提案があります。

- 6) 地区内に温泉付き宿泊施設を整備し活性化を図る。
- 7) 道路改良や家の建替のために宅地が移動したり、地区外に転出されて隣組の戸数がアンバランスとなったり、昔で言う向こう三軒両隣でなくなっている地域があります。隣組組織は地区活動の一定の基礎だと考えますので、隣組再編を検討します。田村区の中にも隣組再編をした自治会がいくつもあります。不都合を感じている自治会においては、そんな自治会を参考にされたらと思います。

### <7> 伝統文化

諏訪社の春まつり(祈年祭)に、奉納として保存承継している**獅子舞と屋台囃子** があります。

獅子舞は、屋台獅子と共に先人達が素朴な生活の中から、祭りを通じて青年達がお祭り青年と言われながら、楽しみとコミュニケーションを図り地域のよりどころとして融和を図ってきた長い歴史があります。

現在、この文化を護るため各自治会の積極的な参加により年番制で保存し、古い歴史を承継し残してきています。今後も皆で力を合わせ、融和を生み出す伝統文化だと信じ、長く引き継いでいきたいと思われています。

一方の課題として、高齢化により年番自治会の若い人たちが減少し、承継を負担と感じる自治会も出てきています。年番自治会の統合を考えたらという意見も出されていますが、そのためには、該当自治会それぞれの融和と協力が不可欠ですので、 慎重に検討・協議をします。

屋台獅子は、獅子舞と共に伝統文化として承継したいという心ある有氏の皆さんで保存会を組織し、伝統を引き継いでいます。

保存会存続のために小学生から体験させてはという意見も出されていますが、少子化が進み、また生活形態も多様化している昨今では、指導者の確保と子供たちの自発的参加の気持ちが必要となってきます。今後も引き続き検討します。